

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8年 4月 10日

東広島市黒瀬町丸山 1606-2

学校法人 緑ヶ丘幼稚園

理事長 花岡 裕

(認定こども園みどりがおかようちえん)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・園庭内の春の草花を使った遊び（花かざり、色水など）
- ・さつまいも苗植え
- ・腐葉土を掘ってカナブンの幼虫さがし

【7月～9月】(夏季)

- ・園庭内での虫取り遊び
- ・草花を使った遊び
- ・水、どろんこあそび
- ・木の実あそび
- ・つかまえた虫を飼ってみる
- ・園で飼育のカブトムシの羽化を見る

【10月～12月】(秋季)

- ・園庭内での虫取り遊び
- ・どんぐり拾い
- ・泥ねんど遊び
- ・焼き芋づくり
- ・園庭穴掘り
- ・年少クラス 自然を活かした遠足

【1月～3月】(冬季)

- ・とんど
- ・雪あそび
- ・じゃがいも種いも植え

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

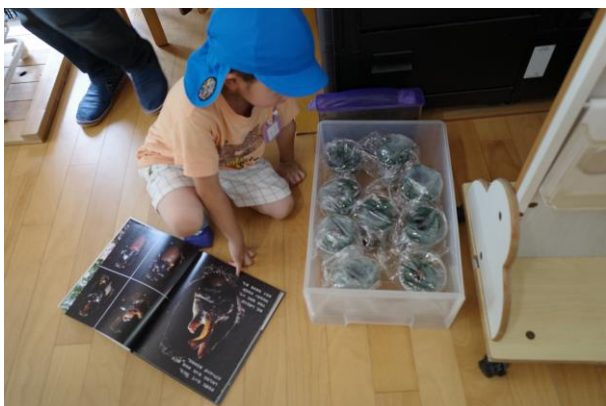


5月はじめ、園庭に生えているカラスノエンドウのさやで、草笛あそび。

副園長が「こうすると、音が出るよ」とさやを加工して音を出すと、子どもも興味が沸き「やりたい」と言い始めたので、さやを加工してやり、吹き方を指導。最初はなかなか音が出ないが、ふとした時にぷーといい音が出る。得意そうに笑う子ども。

職員も挑戦するが、なかなかうまく出ない。その苦戦する様子がおかしいのか、子どもたちも笑顔になる。

【7月～9月】



数年前から継続して事務所でカブトムシを飼育している。毎年何人か強烈に反応する子がいるが、今年は年中のS君だった。

カブトムシの成長を描いた写真絵本を買って事務所に置くと、とても興味を持って読んでくれた。この写真のように、絵本と実物を見比べている時もあった。

ちなみにこのカップケースにはオアシスで作った蛹室が入っており、蛹になっていく姿、すでに蛹になっている姿が上から見られるようになっている。S君は熱心に毎日事務所に通い、成虫になるまでを見届けた。

うえ

【10月～12月】



11月初旬、自然保育アドバイザーの菊間馨先生を迎えて、年少さんの遠足。

行き先は園のほど近くの山道で、距離としてはとても短いものだが、菊間先生のレクチャーによりその周辺に生えている草花をふんだんに活かし、子どもたちに豊かな体験をしてもらえた。

昨年お願いした原山先生と同じく、菊間先生も自然遊びについてけっして教条的にならず、単純明快な楽しさを提示してくれるので、子どもも素直に興味を示すことができていた。

その一方で、その後職員向けにお話をさせていただいた時間では、自然遊びの意義や子どもたちへ提供すべきものについて熱く語っていただき、今後の保育・教育について大いに参考にすることができた。

【1月～3月】



2月中旬に結構な量の雪が降り、園庭は真っ白に。登園を控えるご家庭が多かったが、登園した子どもたちは雪遊びに興じた。

タープ屋根の上にたまった雪を落下しないように取っていると「ぼくもやる」と竹馬を持って来て取ってくれたのが左の写真。

このほかに段ボールを倉庫から持って来て築山からソリ遊びもしたが、夏に行った環境整備で斜面を減らしたため迫力不足だった。

ほかには雪合戦、雪だるま作りもしたが、もっと雪を活かしたことができなかったか？という後悔がある。天候によるものは準備ができていないためその場の思い付きになってしまいがちだが、こういう時に発想の瞬発力が発揮できるように普段から自然遊びの筋肉を鍛えておかねばならないのだろう。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

○自然遊びで著名な出原大先生のオンライン研修を主任・副主任が受講。（3月）

○外での遊びのための環境維持（土壌改良など）を「3」のつく日にみんなで行おうという動きが定着してきた。

- ・ 地域との関わりについて

○地域の方に借りている畑で野菜を育て、それを給食に取り入れてもらう。また、畑の周囲の草花で自然遊び。（通年）

- ・ 保護者との関わりについて

○上記の畑で毎年梅の収穫を行っているが、そこに保護者も参加してもらっている。収穫したあとは参加者でヘタを取り、漬ける下準備まで行う。（5月）

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--